



## 未来へ つなぐ 部活動改革

### 休日の学校部活動が地域クラブ活動へ

国(スポーツ庁・文化庁)は、休日における学校部活動を、地域クラブ活動へ移行・展開していくことを求めています。推進期間として令和7年度末を目指し、各自治体は準備を行うものとしています。深刻な少子化の影響により、全国の部活動で「部員数が少なくなり、大会に出られない」、「やりたい部活が学校にない」といった課題があることから、将来にわたり、子どもたちが希望するスポーツ・文化芸術活動に取り組めるよう、国や県では、まず休日の部活動を、学校単位でなく、地域単位で「地域クラブ活動」として実施できる環境づくりを進めています。

このことを受けて本市でも、中学校教員が顧問となり学校主体で行ってきた「学校部活動」を、地域の指導者などが運営をしていく「地域クラブ活動」に移行・展開していく研究・検討を進めています。

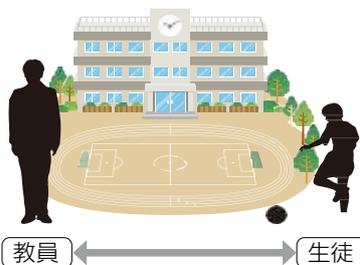
#### ○「学校部活動」と「地域クラブ活動」はどこが違うの？

##### 学校部活動

##### 地域クラブ活動

- 学校が主体となつて行われる部活動
- 学校の中で実施
- 教職員が指導者
- 複数の学校でまとめて1つの部活動を行う共同部活動の導入や、部活動指導員等の地域の人材を活用することを推奨

学校単位での部活動 例:〇〇中学校での部活動



教員 ←→ 生徒

- 地域が主体となつて行われる活動
- 市民体育館、市民グラウンド、学校施設など、多様な場所で開催
- 地域の指導者(一部兼職兼業の教職員も)
- 多世代・多様な活動

##### 地域クラブ活動

例:既存のスポーツ協会等に所属する地域の団体  
新しく立ちあげるスポーツ団体



地域の指導者 ←→ 地域の子どもたち  
総合型地域スポーツクラブや民間事業者などの地域人材  
世代間などの多様な交流が考えられる

#### ○地域クラブ活動の主なメリット・デメリット

##### メリット

- 地域の専門家や指導者が指導することで、生徒は質の高い指導を受けられる
- 地域の人々や他の学校の生徒と交流する機会が増え、地域社会とのつながりを深めることができる

##### デメリット

- 保護者に経済的な負担がかかる可能性がある
- 参加場所までの送迎が必要になる
- 指導者や種目を運営してくれる団体の確保が課題

#### ○亀山市教育委員会としての方向性

現在、国や県の方向性をもとに、中学校における休日の部活動を地域クラブ活動にしていくことを検討しています。これまでに保護者(小4~小6)、児童・生徒(小4~中2)、教職員(小・中学校)を対象に地域クラブ活動に関するアンケートを実施しました。

アンケートの結果をもとに、今後の休日の部活動の方向性をさらに検討していきたいと考えています。

問合せ先 教育委員会事務局学校教育課教育研究グループ(☎84-5077)